

第23回三鷹まちづくりフォトコンテスト 応募締め切り近づく！ ヘルプデスクが対応します！



今年1月1日から12月31日にカメラやスマートフォンで撮影した三鷹市内のまちの写真を募集しています。応募はパソコンやスマートフォンからです。入賞者には、表彰状、賞品が贈呈されます。
応募方法がわからない方やインターネット端末をお持ちでない方は、ヘルプデスクが対応・応募代行します。

- テーマ** 三鷹の『瞬間』を撮る。
- 部門** 一般部門・U18部門(18歳以下)
- 賞** 各部門 金・銀・銅賞、三鷹フィルムコミッション賞など
- 応募期間** 2018年1月10日(水)まで
- 応募方法** フォトコンテスト専用WEBサイトにアクセス
- 主催** 三鷹市、(株)まちづくり三鷹
- ヘルプデスク**

応募締切
2018年
1月10日まで

NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹
☎090-1609-4428
✉photo@mitaka.ne.jp(月・火・木・金 13:00~16:00)



昨年度一般部門 金賞「黄金橋」 渡辺 実さん



フォトコンテスト専用WEBサイト

コワーキングスペース 「ミタカフェ」セミナー



起業時の体験談や起業のためのノウハウを提供するセミナーを開催しています。

日時	タイトル	講師
12/7(木)・2018年1/11(木) 16:00~17:30	経営者実学サロン (ゲスト講師は https://mitacafe.co/ を確認)	河瀬謙一さん
12/22(金) 15:00~17:00	自分で作る本格的チラシと ホームページの活用	本間千寿子さん
2018年1/24(水) 14:30~17:00	ウェブ解析 Google Analyticsの設定から見方	M's create 土井松志さん

申込み・問合せ **ミタカフェ**
✉mitacafe@mitaka.ne.jp ☎0422-26-6113

中堅所得者のファミリー向け市民住宅 入居者随時募集

部屋の内見をご希望の方は、(株)まちづくり三鷹にお問合せください。

- 物件** ドウマンクレール三鷹(三鷹市新川3-12-3)
- 空室** (1)102号室 (2)103号室 (3)105号室 (4)301号室
- 間取り** 3LDK (1)(2)…69.88㎡ (3)(4)…69.90㎡
- 家賃等** いずれも月額119,000円、
共益費7,000円

※礼金、敷金、更新料なし。退去時に修繕費などの負担金が発生する場合があります。なお、平成30年3月末で市民住宅としての借り上げ期間満了のため、以降は敷金・礼金・更新手数料が発生する場合があります。



ビジネスユースに最適！ 便利で快適な三鷹産業プラザ貸会議室を ご利用ください

三鷹産業プラザ7階には、5つの会議室があります。20名程度の会議から200名規模のイベントも可能です。ミーティングのほか、展示会、セミナー、パーティーなど幅広く利用できます。料金や空き状況など詳しくはWEBで確認できます。



申込み <https://kaigi.mitaka.ne.jp/>
問合せ 三鷹産業プラザ ☎0422-40-9911
(三鷹産業プラザの貸会議室は、(株)まちづくり三鷹が運営しています。)

内容についてのお問合せ

(株)まちづくり三鷹 ☎0422-40-9669
〒181-8525 三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ
☎0422-40-9750 ✉info@mitaka.ne.jp <https://www.mitaka.ne.jp/>

(株)まちづくり三鷹は、三鷹市全域のまちづくりを総合的に支援することを目的に設立された第三セクターです。

●制作協力：(有)そーほっと ●この通信は再生紙を使用しています。

三鷹

まちづくり通信

カラー版 年4回の発行になりました！

2017年 2018年
12~1
月号



©2001スタジオジブリ

この通信は、地域産業の振興と総合的なまちづくりを推進するために、三鷹市と株式会社まちづくり三鷹が協働で発行しています。三鷹市内のまちづくりに関する事業や催しもの、まちづくり団体の活動などを紹介しています。

ファブスペースみたか ～デジタルものづくり工房～

会員募集中!

「ファブスペースみたか」は、あらたなものづくりのツールでアイデアを形にしたり、ものづくりをする人の交流や起業を促すための場として3Dプリンター、レーザーカッター等のデジタル加工機器を配備した会員制のスペースです。

デジタル加工機器の普及によって、設計や造形が手軽に行えるようになり、自由な発想でより暮らしに身近なものづくりが可能となっています。たとえば、3Dプリンターでは、設計データをもとに立体物を作ることができます。商品制作の際、3Dプリンターで作った立体サンプルがあれば、完成イメージが共有できます。

このように、デジタル加工機器によって、ものづくりの幅が広くなり商品化への垣根も低くなっています。



一方、デジタル加工機器の操作がわからないと不安を抱く方も多いため、当施設では入会した方を対象に機器の基本操作のレクチャーを必ず行います。また、入会していない方も気軽に参加できる初心者対象のワークショップも用意しています。さらに、入会後には、技術サポーターに技術相談を行うこともできます。

その他、会員対象に、ハンドメイドのワークショップの場所として、また、手作りサークルの集いの場としても活用できるテーブル貸しやレンタルボックスの貸し出しも行っています。

「ファブスペースみたか」は、ものづくりをする人が集って、より多くの人が交流し、アイデアが生まれ、それを形にする場所、そして、それが起業や働き方改革などにつながっていくスペースを目指しています。

配備している主なデジタル加工機器



- レーザーカッター
- UVプリンター
- 3Dプリンター
- モデリングマシーン
- 電子刺繍ミシン
- ペーパーカッター など

デジタル加工機器を使って作成した作品例



■所在地:三鷹市下連雀3-38-4 三鷹産業プラザ1階
■営業時間:11:00~19:00(月・火・年末年始休)
☎0422-40-3520 ✉fabspace@mitaka.ne.jp <https://fabmitaka.co/>

… ファブスペースみたか 会員募集 …

- 入会金** 1,080円(税込)《入会金無料キャンペーン実施中!》
- 利用料** 1,080円/1日(税込) ※別途機器使用料がかかります。
- テーブル貸し** 3,240円/3時間(税込)*
- レンタルボックス** 2,160円/1か月(税込)*

*利用にあたっては審査があります。

個人情報の取扱いについて

(株)まちづくり三鷹は、お客様及び当社に関わる方の全ての個人情報について、当社の個人情報保護方針に基づき、適切に保護、管理、運用、利用してまいります。



●個人情報に関する相談窓口

(株)まちづくり三鷹 三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ
☎0422-40-9669 ☎0422-40-9750 ✉privacy@mitaka.ne.jp
◇無料購読のお申込み・変更・中止のご連絡は随時お受けしております。

第14回みたかビジネスプランコンテスト 最終審査結果発表

「第14回みたかビジネスプランコンテスト最終審査発表会」が、11月2日(木)、三鷹産業プラザで開催されました。このコンテストは、起業や新規事業で大きな飛躍を目指す方のビジネスプランを募り、発表の機会を提供するとともに事業の成長を応援するものです。

今年は29件の応募のうち、書類審査を通過した8件のビジネスプランが発表され、以下のとおり各賞が決定しました。また、当日は、参観者による恒例の「礼上げ」や発表者への応援メッセージも多く寄せられました。受賞者へは、賞金が贈呈されたほか、SOHOオフィス等の優先利用、各種機関による実践的なビジネスサポートの特典が付与されます。



📄 <https://mitakabizcon.mall.mitaka.ne.jp/>

賞	氏名(敬称略)	プラン名
最優秀賞	高松 奈々	「笑える! 政治教育ショー」を全国に届けたい
優秀賞	丸山 夏名美	日本企業に「世界の視点」を取り入れる「Another Door」
	田谷 圭司	勉強のモチベーションを高め、よりよい学習につなげるIoT筆記具 ～いくせい(育成)ペン～
地域貢献賞	尾頭 希	犬塾 ～殺処分0ゼロ社会の為に大切な事～

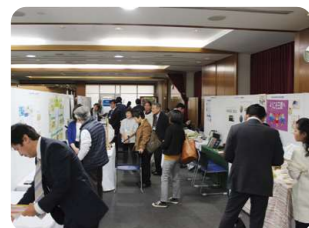
第20回SOHOフェスタ in MITAKA 開催レポート

11月2日(木)に三鷹産業プラザで開催した当イベントは、20回の節目の回で、第14回みたかビジネスプランコンテストと同時開催し、大勢の来場者がありました。

各ブースではパネルや商品等の展示・紹介があり、動画コンテストでは、エントリー10作品を会場で上映し、審査員5名と来場者の投票による審査が行われました。

ビジネスセミナーでは、クラウド会計freee株式会社執行役員の川西康之氏を講師に迎え、自身の起業・経営・転職などの経験を踏まえ、成功のための業務の効率化と本業にフォーカスすることの必要性について話されました。

今回、特別表彰として最多出展者賞が設けられ、メディカルシステム・ナガイさんが受賞しました。また、ベスト展示大賞は有限会社MIURA TECHさん、動画コンテストベスト動画賞には、モダンタイムスさんが受賞し、表彰状などが贈られました。



第10回新川宿ふれあい通り朝市が開催されました

11月5日(日)は、新川宿まちづくり協議会創立10周年そして、新川宿ふれあい通り朝市開催第10回を祝う特別な日でした。

当日は晴天に恵まれ、朝から模擬店や地元産野菜を求め、多くの方が来場していました。記念式典や記念スタンプラリーもあり、景品の鉢花を手に歩く姿も多く見られました。バナナのたたき売りや一小児童によるブラスバンドやダンス、一小おやじの会による腕相撲大会などで、会場の新川宿ふれあい通りは大いに盛り上がっていました。



大根とじゃがいもの収穫体験とあつあつイモ煮会が盛大に開催されました



さわやかに晴れた11月19日(日)、北野の三鷹ファーム管理農園で、恒例の三鷹市都市農業市民交流協議会主催「大根とじゃがいもの収穫体験とあつあつイモ煮会」が開催されました。18日(土)が雨天のため、翌日への順延開催にもかかわらず、約230人が参加しました。

まずはじゃがいも掘りで、取り残しのないよう丁寧に掘り起こします。次に大きく成長した大根を力いっぱい引き抜き、収穫の喜びを体験しました。その後のイモ煮会では湯気が上がったお椀を手に参加者の笑顔がはじけ、あちこちから「美味しい!」の声が上がり、お子さんも何度もおかわりをしていました。参加者からは、来年もまたぜひ参加したいというリクエストが多く聞かれました。



まちづくり団体 レポート

三鷹市内の各地域では、市民主体のまちづくりが進められています。このコーナーでは、三鷹市民のレポーターがまちづくり団体の活動取材し、レポートします!



三鷹駅南口西側中央地区再開発組合

市の玄関口にふさわしい、安全で快適な三鷹一の高層ビルを建設中

三鷹駅西側中央地区では現在、再開発工事が進められており、地区全体が一つのビルに生まれ変わろうとしています。高さ約97メートル、地下2階、地上26階は三鷹市内で最高層となり、2階はペデストリアンデッキに接続しており、三鷹市の玄関口の新たなシンボルとして、注目と期待が高まります。建設中の建物は、1～3階は店舗、4、5階にオフィス、その上層階は住居が計画された複合ビルで、地下に駐車場・駐輪場のほか、駅前広場に面して小広場が設けられます。

遡ること35年。三鷹市は昭和57年に、三鷹駅前地区において、市の玄関口にふさわしい空間となるよう交通拠点及び防災機能の充実、商業環境の整備などをめざし、「三鷹駅前地区再開発基本計画」を策定しました。その計画に基づき、平成5年に三鷹コラルが入るネオ・シティ三鷹ビルが竣工しました。その後、市は平成8年に新たな三鷹駅前地区再開発基本計画を策定、平成17年の改定を経て、平成19年にはエルヴェ三鷹が竣工しました。これらの計画が進む中、西側中央地区の商店主たちに再開発の機運が高まり、平成10年には「三鷹駅前地区西ブロック開発準備会」として地権者同士の勉強会がスタートしました。

平成14年には(株)まちづくり三鷹の「まちづくり団体助成及びまちづくり専門家派遣」の支援メニューによる準備会への団体助成が始まりました。平成19年には「三鷹駅南口西



完成イメージ図



断面イメージ図(南北断面)

側中央地区再開発組合」を設立、平成25年には地権者全員の合意が成立し、平成28年4月には共同ビル工事に着工しました。先ごろ高層階がつながるPC立柱式が行われ、工事は順調に進捗しています。

再開発組合理事長 木村得玄さんによると、かつて文房具屋、新聞屋、洋服屋が駅前に並んでいて、ほかにも電気屋、傘屋、洋服屋、表具屋があったり、時計店が中華料理店になったりとしたそうで、暮らしに欠かせない商店街であったことがわかります。民間再開発事業として、このような大きなプロジェクトを進めるのは大変だと思いますが、揺るぎない信念で事業を進めている木村さんの目に力強さを感じました。

また、再開発にあたっては、「赤鳥居通り」の通称で親しまれてきた三鷹市道第14号線の一部が廃止されました。通称「赤鳥居通り」は、通りの入り口にかつてお客を招くのに一役買っていた赤鳥居が建っていたことに由来するものです。生活道路として多くの人に利用されていたことから、今回廃止された部分の代替機能として、エスカレーター3基が新たに整備されることとなっています。

昔から生活に欠かせない空間として愛されてきた西側中央地区。長年の取り組みが実を結び、あとは平成31年2月の竣工を待つばかりです。かつては古い商店が立ち並んでいた西側中央地区が再開発されて、三鷹駅前がどのように変わるのかがとても楽しみです。



着々と工事が進みます



三鷹駅南口西側中央地区再開発事業



昭和39年当時の赤鳥居通り(三鷹市HPから)